

英語ガイドを通して 一期一会の出会いを



▲スクリーンを使いながら英語ガイドについて説明された。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

歴史が好きで、初対面の人と話すことに慣れていたため彦根城の英語ガイドを始めたという早田さん。「日本を訪れる外国人観光客は年々増加している。彦根は静かにゆっ

彦根ボランティアガイド 早田孝司 完

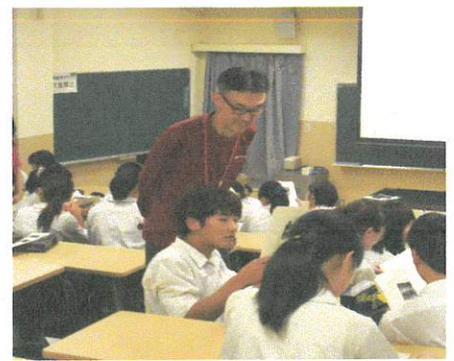
10月11日に本校で第一回彦根城英語ガイド養成講座が行われた。生徒たちは彦根の歴史を学んだうえで、英語ガイドの例文を参考にしてグループ練習に取り組んだ。今回は彦根ボランティアガイド協会の早田孝司さんと加藤美穂さんに取材を行った。

彦根ボランティアガイド協会は「彦根城、及びその周辺の観光地を訪れる方々に、郷土の歴史文化や自然風土を会員自らのボランティア精神をもって案内し、『彦根』に対する理解と愛着を深めてもらうこと」を目的として活動しているそうだ。

最後に「ガイドをする際にはマニュアル通りに解説しなくてもよいと考えている。むしろ観光客に合わせて臨機応変に対応するべきだ。伝えたいところは強調して説明するなど、工夫をしてインパクトを与えることが大切だと思う。少し大きめに伝えるくらいがちょうどいい」とアドバイスをされた。

最後に「ガイドをする際にはマニュアル通りに解説しなくてもよいと考えている。むしろ観光客に合わせて臨機応変に対応するべきだ。伝えたいところは強調して説明するなど、工夫をしてインパクトを与えることが大切だと思う。少し大きめに伝えるくらいがちょうどいい」とアドバイスをされた。

「天守だけでなく、玄宮園、御殿、藩校、武家屋敷の5点セットがしっかりと残っている。さらに城の周りには美しい自然が広がっている。この総構えの魅力はほかにはないものだと思う」と笑顔を見せられた。



▲早田さんはジェスチャーもガイドに必要な要素だと指摘された。



▲優しく生徒を見守る加藤さん

最後に生徒に向けて「雑念を乗り越え、目の前のことをクリアしていけばきっと身になる」と微笑まれた。

加藤さんは彦根が大好きで、その素晴らしさを世界に発信しなければならぬという使命感を持ったそうだ。英語ガイドについて「ジャパニーズイングリッシュとネイティブの壁を悔しく思う。またギリシャなどのなまりのある英語に戸惑うこともある」と明かされ、ガイドのコツを「相手のニーズを掴むことが大切だ。歴史に興味がない人もいるが、もっと話してほしいという人もいる。どちらの人にもできる限りの対応をする必要がある」と説明された。

彦根ボランティアガイド 加藤美穂 完